

“觉得+不Vp”と“不觉得+Vp”

鈴木(砂岡)和子

§1 はじめに

1991年の年明けの授業の日であったと記憶している。暖冬とはいえ寒い日であった。果先生はコートを脱ぎながら挨拶された。“今天很冷啊”。私が“我觉得不冷”と答えると先生はしばし首を傾げられたあと「“我不觉得冷”のほうがいいね」と訂正された。

“觉得不冷”と“不觉得冷”。基本的な否定詞の使い方を間違えたショックから、“觉得+不Vp”と“不觉得+Vp”の用法①について質問した。しかし陳述内容によってはどちらのタイプも使えることも判り、果先生はそこで私に、たくさん例文を集めてみるよう勧めてくださった。先生の記念集にこの小論を寄せて中間報告とし、感謝の気持ちに代えたい。

§2 あいまい認定動詞

“觉得”は“认为”“感觉”などと同じく心理活動を表す動詞である。しかしこのグループの動詞は、後ろに続くVp句命題にたいする「認定度」が弱い。

① 我觉得(认为, 感觉) 这本书不好

同じく心理動詞でも“知道”“断定”“记得”などは、後ろのVp命題をはっきりと認定、或いは否定したりする。

② 我知道(断定, 记得) 这本书不好

いま“觉得”など前者のグループを「あいまい認定動詞」、後者のグループ

を「はっきり認定動詞」と呼ぶことにする。「あいまい認定動詞」は自身を否定しても、後続Vp句を否定しても、ニュアンスの強弱はあれ陳述の結果が同じになる。①=①’

①’ 我不觉得(认为, 感觉)这本书好

ところが「はっきり認定動詞」は否定詞を前に移動すると、全体の意味が大きく異なってくる。②≠③

③ 我不知道(断定, 记得)这本书好

否定詞“不”を動詞の前後に移動しても意味に大差を生ぜず、文が成立する心理動詞のグループの研究には沈1989がある。当論文によれば“不”の移動が可能なのは、判断の度合いが中程度の動詞及び助動詞や一部の副詞(沈は“中項”の語句と呼ぶ。他に非叙詞 *unfactive* とか非預設詞 *unpresupposition* ともいう)に限られ、強くても弱すぎてもいけない。

④ 我觉得这不丢人=我不觉得这丢人

⑤ 我认为我们没有错=我不认为我们有错

⑥ 我打算不考大学=我不打算考大学

⑦ 我主张你不再上诉=我不主张你再上诉

“打算”や“主张”は陳述のムードは強いが後続の叙述命題の事実に関しては“觉得”などと同じく、命題への曖昧な認定を示すにすぎない。これに対し後述命題句を強く認定、もしくは否定する“知道”“断定”“肯定”“明白”“承认”“保证”“同意”などは、否定詞を移動すると事実が逆転する文となることは例文③で一部示した。能願動詞“允许”や副詞“一定”、形容詞“好意思”の例を沈論文から挙げてみよう。

⑧ 我允许你不去≠我不允许你去

⑨ 我一定不去≠我不一定去

⑩ 你好意思不回信? ≠你不好意思回信?

上例はともに左項が「はっきり」表示であるのに右項は「強もしくは弱」判断句で、イコールで結べない。また「弱判断」句は否定形が非文になるものもある。

“觉得+不Vp”と“不觉得+Vp”

⑪ 我想他不去 ≠ ? 我不想他去

⑫ ? 我想不去 ≠ 我不想去

“不想”は願望(～したい)で、「弱判断語句」の“想”(～と思う)は否定詞を移動できない。

では“判断強度中”すなわち「あいまい認定動詞」は、なぜ否定詞を移動できるのであろうか？ 引き続き沈1989に従えば、「あいまい認定動詞」は「ムード」の範疇に近く、後ろに続く陳述内容の「コト」を否定した言い方と、「コト」はそのままで「ムード」で否定した表現が結果として接近する。日本語で「～でないとおもう」「～とおもわない」が結局同じ意味になるのと似ている。

“觉得”のグループの否定詞移動も同じ理屈である。“觉得+不Vp”を陳述内容の直接否定型とすると“不觉得+Vp”は間接否定で否定詞が陳述の焦点から遠ざかったぶん、婉曲で弱い否定の表現になる。

しかし“觉得”は常に否定詞が移動可能なわけではない。本文では曹禺の話劇から具体的表現を拾い“觉得+不Vp”と“不觉得+Vp”の違いを考える。

§3 Vpによる“觉得”否定型の分類

曹禺の話劇に現れる“觉得+不Vp”と“不觉得+Vp”および“觉得+Vp”を索引を使い文例を集めてみた。語料数合計105例から抽出できる特長を具体例を交えながら箇条書きにする。(文例後ろの数字は曹禺選集のページ数)

1. {Aタイプ} “觉得”の例は4例のみ。しかも内3例は“一点儿也不觉得～”型のいわば否定詞強制繰り上げタイプである。

有什么不对? 你一点也不觉得? p. 17

一点也不觉寒呛 p. 276

本来の“觉得+Vp”の否定型、“不(觉得+Vp)”の例はわずか1例しかみえない。

因为他不觉得自己是丑陋的 p. 184

後ろに続くVp句はいずれも“寒呛，丑陋”などの形容詞句またはゼロ形式で、叙述(コト)がこの表現のポイントといえよう。このタイプをAタイプと呼ぶ。

2. {Bタイプ} “不觉得”は副詞化しやすく、この型が38例と大部分を占める。副詞化により漢字表記は“不觉地”に変わったり、格助詞が脱落し、“不觉”や“不知不觉”のようなイデオム句に発展している。副詞化した“不觉地”に動詞句が続く点が{Aタイプ}との異なり、しかも動詞の繰り返しやアスペクト“～着”、方向補語“～起来”“～出来”“～进出”や動量詞“一下”“一口气”などを多く伴う。このタイプをBタイプとする。

⑬ 突然摸着自己的口袋，不觉挖苦挖苦自己，惨笑起来 p. 380

⑭ 不觉悲哀地望望眼前那几张沉肃的脸 p. 387

⑮ 不知不觉地又理理头发 p. 186

⑯ 不觉望着笼里的鸽子 p. 412

⑰ 不觉把手抽出来 p. 354

⑱ 不觉缩进去那双苍白的手腕 p. 301

⑲ 不觉高兴起来 p. 380

⑳ 不觉喊起来 p. 418

㉑ 不觉又把身旁那个“刮打嘴”抱起来看 p. 340

㉒ 文彩不觉停住脚 p. 417

㉓ 不觉对文清笑了一下 p. 337

㉔ 文清不觉长叹一声 p. 339

㉕ 不觉叹一口气 p. 324

{Bタイプ}の中に形容詞句が続く例が少数であるが見える。

㉖ 又不自觉眼泪汪汪的 p. 379

㉗ 不觉有些惭愧 p. 384

㉘ 不觉气愤 p. 416

㉙ 不觉噉嘴 p. 397

これらは{Aタイプ}と紛れ易いが、例外なく結構助詞“地”を欠いた“不

“觉得+不Vp”と“不觉得+Vp”

觉”なので、補語をとる“不觉得”と区別できよう。

3. {Cタイプ} “觉得+不Vp”は18例。

“不Vp”は“对不起”“不对”“不错”“不如～”“不理”などの定型句や慣用句で、多く肯定型には戻せないきっぱりした口調の語句が充当する。そのため語気を和らげるのに副詞“有点儿”や“丢不了”“说不出”などの可能補語が出ることも見逃せない。またこのタイプは“总觉得”“忽然(突然)觉得”“真觉得”などmodality 副詞との共起が多く、前後相まって陳述(ムード)が表現のポイントであることを窺わせる。

冒頭の会話“今天很冷啊”と同意をもとめられたのに対し、“我觉得不冷”は冷たい否定表現であったわけだ。相手の感情を汲んだムード {Aタイプ} で“我不觉得冷”と返答するべきだった。

このCタイプの例を挙げる。

- ③⑩ 我总觉得您……不如以前似的 p. 27
- ③⑪ 果然觉得口味不对，放下 p. 298
- ③⑫ 你自己觉得挺不错 p. 81
- ③⑬ 今天的事，我真觉得对不起你 p. 89
- ③⑭ 忽然觉得这不是谈家事的地方 p. 50
- ③⑮ 不过我觉得没有什么可谈的 p. 65
- ③⑯ 觉得周萍没有理她 p. 28
- ③⑰ 我突然觉得，我不能这样就死，不能……，我丢不了你 p. 122
- ③⑱ (异常困难地)我觉得我，我在此地的事还没有了 p. 397
- ③⑲ 忽然觉得有点不大符事实 p. 178
- ④⑩ 忽然觉得说不出口 p. 398

4. {Dタイプ} “觉得+不Vp”と“不觉得+Vp”のどちらも可能なタイプ。

上に見てきたように、理論ほど否定詞の移項はたやすすくない。このタイプの条件は、Vpが叙述形容詞句で、プラス意義を持つ語であること、文中に陳述副詞などムード的要素を含まない等である。

- ④⑪ 觉得不妥当的=不觉得妥当的

④② 我觉得不正确=我不觉得正确

④③ 我也觉得不心安=我也不觉得心安

5. {Eタイプ}表層に否定詞の表れない“觉得+Vp”タイプ。否定詞は現れないがVpはマイナス要素をもった語句である場合が多い。

④④ 觉得在女儿面前失了面子 p. 6、19、22

④⑤ 这两年——我倒觉得你变了 p. 12

④⑥ 觉得失言 p. 21

④⑦ 他也觉得她粗 p. 28

④⑧ 总觉文彩故意跟他为难 p. 377

④⑨ 乖觉地垃起顾八奶奶的手 p. 185

④⑩ 如果你觉得心理有委屈 p. 64

④⑪ 我觉得我象在做梦 p. 65

④⑫ 忽然觉得很奇怪 p. 59

④⑬ 我觉得我对你很抱歉的 p. 91

④⑭ 我觉得你……偏见太重 p. 93

④⑮ 我就觉得恶心 p. 142

④⑯ 我知道你觉得我很傻 p. 147

§4 まとめ

タイプ別特長を表にまとめる。

タイプ		例数/105	陳述の焦点と条件
A	不觉得Vp	(1)	婉曲(間接)否定 Vpは形容詞句
	(一点不觉得)	(3)	
B	不觉(地)动句	(34)	副詞(状語)化 Vp動句は動作動詞 Vp形容句は描写形容詞
	不觉形容詞句	(4)	

“觉得+不Vp”と“不觉得+Vp”

C	觉得不Vp	18	直接コト否定 不Vpは慣用句 前句にmodality 副詞、後句に否定弱 化副詞を多く伴う
D	不觉得Vp ↓ 觉得不Vp	5	中立的否定 Vpはプラス義形容詞 文中にmodalioy 要素含まない
E	觉得Vp	40	多くマイナス表現 Vpはマイナス義形容詞句

曹禺作品ではAタイプに女性の発言が多く、Cタイプは性格のはっきりした人物のせりふに現れる傾向も見られるが、紙幅も尽きたので稿を改めたい。

注① Vpは本来動詞句の意味であるが、本篇では形容詞句を含んだ記号として使用。

参考文献

1. 沈家煊1989 “判断语词”的语义强度 《中国语文》1989 1期
2. 索引 「现代汉语语言资料」第三辑 (曹禺《雷雨》《日出》《北京人》) 武汉大学语言自动处理研究组编1989/8
3. 《曹禺选集》1979 人民文学出版社